

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成 21 年 5 月 7 日 (2009.5.7)

【公表番号】特表 2008-534040 (P2008-534040A)  
【公表日】平成 20 年 8 月 28 日 (2008.8.28)  
【年通号数】公開・登録公報 2008-034  
【出願番号】特願 2008-502461 (P2008-502461)  
【国際特許分類】

A 6 1 B 19/00 (2006.01)

【FI】

A 6 1 B 19/00 5 0 2

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 17 日 (2009.3.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

器具をガイド軸線に沿って案内するように、身体部分に取り付け可能な外科用のガイドにおいて、

前記ガイド軸線を定めていて、使用の際に前記器具を受け入れるチャネルを、有する本体と、

ベースであって、使用の際に前記身体部分に取り付けられると、前記身体部分の表面に係合し、前記ガイド軸線が前記身体部分に関する入口箇所を通っている状態で、前記身体部分に関する前記入口箇所上に前記本体を支持する、ベースと、

前記本体を前記ベースに取り付ける旋回機構体と、

を具備し、

前記本体は、旋回することによってのみ、かつ少なくとも 2 つの旋回自由度で、前記ベースに対して動くことができ、

前記ガイドは、前記入口箇所が前記本体の旋回を中心である運動の中心であるように構成されている、ガイド。

【請求項 2】

請求項 1 記載のガイドにおいて、

前記ガイドは、前記ベースに対する前記本体の前記角度位置を固定するように動作できるロックを更に備える、ガイド。

【請求項 3】

請求項 1 記載のガイドにおいて、

前記旋回機構体は、回転部分および静止部分により構成されるボールソケット形継手を含む、ガイド。

【請求項 4】

請求項 1 記載のガイドにおいて、

前記回転部分および前記静止部分は、前記回転部分と前記静止部分との間に、球の少なくとも一部である支承面、および前記支承面が動くことができる別の支承構造体を提供する、ガイド。

【請求項 5】

請求項 1 記載のガイドにおいて、

前記旋回機構体は、  
球の表面の一部である第１の支承面を有する要素と、  
前記第１の支承面が動くことができる第２の支承面と、  
を含み、  
前記第１の支承面の曲率半径は、前記第１の支承面と前記入口箇所との間に延びている  
、ガイド。

【請求項６】

請求項１記載のガイドにおいて、  
前記ベースは、前記ガイドを前記身体部分に固定するための複数の取り付け箇所を有  
する、ガイド。

【請求項７】

請求項１記載のガイドにおいて、  
前記ガイドは、ステムを含み、  
前記ステムは、前記本体に取り付けられると共に、前記ベース内に延びており、  
前記ステムは、前記チャンネルの延長部であって前記ガイド軸線と同一直線上に位置する  
、別のチャンネルを含んでいる、ガイド。

【請求項８】

請求項２記載のガイドにおいて、  
前記ガイドは、ステムを含み、  
前記ステムは、前記本体に取り付けられると共に、前記ベースによって保持された状態  
で、前記ベース内へ延びており、  
前記本体および前記ステムは、前記ロックを構成するように協働する、ガイド。

【請求項９】

請求項１ないし８のうちのいずれか１項に記載のガイドにおいて、  
前記ガイドは、前記本体に取り付けられたマーカを更に含み、  
前記マーカは、追跡システムによって追跡可能であり、これにより、前記追跡システム  
の座標系における前記ガイド軸線の位置を求めることができる、ガイド。

【請求項１０】

請求項１記載のガイドにおいて、  
前記ガイドの各部分は、その長手方向軸線に関して回転対称である、ガイド。

【請求項１１】

差し向け軸線を求めるＣＡＳ方法であって、この差し向け軸線に沿って器具が身体部分  
の方へ差し向けられるようになっている、方法において、  
前記差し向け軸線の向き、および、追跡システムの座標系における前記差し向け軸線を  
身体部分の表面上に通す入口箇所、を求めることと、  
前記座標系においてガイドの位置を追跡することであって、前記ガイドが、ベース、お  
よび前記器具をガイド軸線に沿って受け入れるチャンネルを有する本体を有し、前記本体が  
、旋回によってのみ前記ベースに対して動くことができる、追跡することと、  
前記差し向け軸線に対する前記ガイド軸線の位置および／または前記入口箇所に対する  
前記ガイド軸線の位置を、図形で表示することと、  
を含む、方法。

【請求項１２】

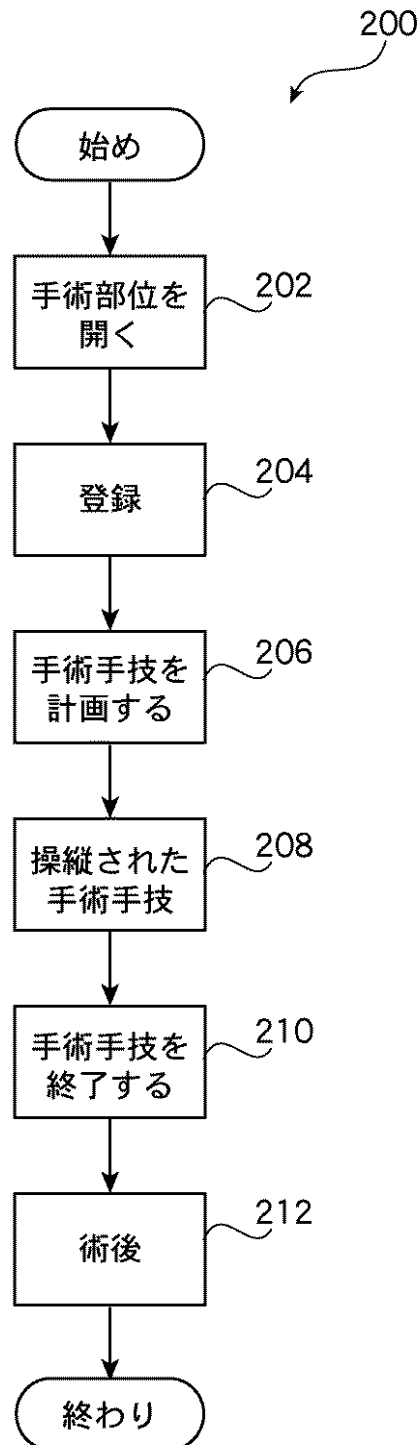
コンピュータプログラムにおいて、  
請求項１１記載の方法を行うように、データ処理装置により実行可能である、コンピ  
ュータプログラム。

【請求項１３】

コンピュータにより読み取り可能な媒体において、  
請求項１２記載のコンピュータプログラムが書き込まれた、コンピュータにより読み取  
り可能な媒体。

【手続補正２】

【補正対象書類名】図面  
【補正対象項目名】図 6  
【補正方法】追加  
【補正の内容】  
【図 6】



【手続補正 3】  
【補正対象書類名】図面  
【補正対象項目名】図 7  
【補正方法】追加  
【補正の内容】

【 図 7 】

